

神戸市水道労働組合北支部との交渉議事録

1. 日 時：令和7年9月3日（水） 9:30～10:30
2. 場 所：北部水道管理事務所1階会議室
3. 出席者：（局） 北部水道管理事務所長、係長2名
（組合） 北支部長、北支部副支部長、北支部書記長、本部書記次長
4. 議 題：2026 北支部産別要求の回答について
5. 発言内容：
(局) 2026年度北支部産別要求に対して別紙の回答書のとおり回答する。
※別紙の回答書を配布の上読み上げ

庶務パート1名増員

(局) 昨年度も出ていたが、同様の回答になる。職員配置については管理運営事項のため交渉できない。職場の労働環境については普段のコミュニケーションの中で十分に見聞きしながら、職制として措置を講じていきたい。今年度も引き続き、会計年度任用職員を1名お願いしている。本人が了承すれば、最長5年勤めてもらえる。今後も継続していきたい。

工事係2名の増員

(局) これも昨年度同様、職員配置については管理運営事項であるため交渉できない。重ねての回答となるが、職場の労働環境については普段のコミュニケーションの中で十分に見聞きしながら、職制として必要な措置を講じていきたい。人が入ってこない状況が続いている。2名の増員は伝えたいと思うが、そういう状況である。

(組合) ちなみに来年度の採用はどうか。

(局) まだ試験は終わっていない。年に3回くらい募集している。今回は水道技術職が1人10月に採用されたと聞いている。

(組合) 労務職を採用するという考えはないのか

(組合) 労務職の採用は、国の方針で無くすとなっているので。

(局) 民間を活用すると言っていたが、民間も人が減っているので、どうするのかを早く考えないといけない。

(組合) しかし誰も局は考えない。技術の継承とかどう考えているのかと毎回言っても人員に関することは管理運営事項と言うだけで終わる。水道技術の試験の際には多能工になれ、これからは多能工を育てると言われ色々なことをやらされているのに、今の採用の仕方と人員の配置の仕方だと、そんな人間は育たない。今後のことについて何を考えているのか分からぬ。

- (局) もともとは水道技術（土木職）を毎年10人雇う方針だったが、今だと1人か2人の採用だったと思う。
- (組合) 各事業所に1人か2人は入ってこないといけない。
- (組合) 水道技術の採用がなかなかできていないと思うが、その中で土木職を代わりにあててもらっているのか。
- (局) 土木職も神戸市で足りていない状況である。
- (組合) せっかくの人材（土木職）を、異動希望者については局外へ出すのではなく、うちの局の中で確保して育てていくといったことをしてもらいたい。
- (局) 10人採用されれば職場内の中でも人の入れ替えができるが、とりあえず新しく入ってきた人に関しては、請負の係のところに入ってもらう。
- (組合) 職場内のレベルはこのままいくとマイナスばかりでプラスが無い。人は退職していく。新しく入ってきた土木職も3年おきに出ていく。残された人間が毎年そのマイナス分を補うためにしんどくなる。また、職場の中での人の循環もしてほしい。
- (組合) どうしていくのか真剣に考えて示してほしい。
- (組合) ずっと局に投げかけているが、具体的な話は一切ない。結局頑張ってやっている、人が入らないとしか言わない。
- (組合) さんざん職員にはいろいろなことを押し付けてきて、自分達はなぜそれで済むのか。3、4年したらうちの職場も4、5人退職する。それがまた補充なしでいくことになるのか。
- (局) 補充なしではないが、今のところ水道技術に関する補充と言っている。
- (組合) 人が入ってきていないのに、どうやって補充するのか。
- (局) 労務職の採用はしない。
- (組合) 今後試験を受けに来る人すらいなければ、ずっと欠員で行くのか。現役もやめている。それだけ魅力のない職場になっているのでは。こういった状況にしたのは誰なのか。
- (局) 他の局でも早期退職者が多いと聞いている。
- (組合) このあたりの話は主管課長交渉でしていく。

ボロシャツ

- (局) 昨年も出ていて、安全衛生委員会で検討されているが、改めて所管課に伝える。今年度は検討するといった前向きな情報を得ている。空調服のベスト型が配布されたので、その下に着るものが必要であるといった見解。ロンTか長袖ボロシャツを検討していると聞いている。

ウォータークーラー

- (局) 要求済である。10数万円のウォータークーラーを要求しているが、昨年本庁に

設置されたもののように、レンタルでもよいのであれば要求が通ると思われる。

和式トイレの洋式化

(局) 営繕要求する。

iPad

(組合) iPadは全車両に配備すると局長と副局長が市会で答弁したのに、いまだに配備されていない。これで緊急対応は大丈夫であると言っていたのに。今現在使用頻度が低いのは、複数名で1台といった配置をしているからであり、共用では使いにくく。車両1台につき1台の配備にすれば、使用頻度は上がると思われる。局の方針として言ったことくらいきちんとやってほしい。

(局) 所属としては、職場の意見をしっかりと伝えていきたいと思う。

空調服

(組合) 袖なしの空調服をはじめ、神戸市全体の支給というのは分かるが、使用する者の意見を取り入れて物の選定をしないといけない。今回のようにほとんどの人が使用していないものを配られても無駄。なぜ意見を聞かないのか。

(組合) 長袖のシャツに関しては局の労安での対応になるので、検討委員会の開催があると思う。

(局) 所属としては、職場の意見をしっかりと伝えていきたいと思う。

自家発電装置

(局) 営繕要求をしていく。自家発電機は今年度調査段階。

南東エントランス浸水対策

(局) 対応が大がかりな工事となるため、他の提案も貰っている。工事については要求を継続していきながら、それまでの間の対応は考えていきたい。

事務室エアコン

(局) 昨今夏場の暑さは尋常ではないことは承知しており、長期的な改善は要求していく。修理は早急に対応している。

水道技術職の転任試験

(局) 所属としては、しっかりと伝えていきたいと思うが、人事委員会の試験を受けていただきたい。

マッピング更新の遅れ

- (局) 所属としては、職場の意見をしっかりと伝えていきたいと思う。
- (組合) マッピングの更新事業者について、配水課も考えてはくれているようだが、実際1年遅れでも困っていないのか。北部以外の前の4センターに関しては6年度の単契データは一切入っていない。本当にこれで良いのかとは思う。図面だけ現場に持つていき、対応する際に困ることはあると思う。誰かが気が付けばよいが、そうでなければトラブルの原因にもなりかねない。1年遅れではだめなのでは。
- (組合) 現状1社のみで、しかも2名でやっている。視察で行かせてもらったが、他都市では局内の図面更新センターみたいな所で局指導のもと業者でやっている。
- (組合) 更新センターのようなところを作つても問題ないと思うか。
- (組合) 詳細図の範囲を枠の中で区割りするのが難しい。局が指導してやらないと難しい。また現状の契約では、工事の中に含まれているので、マッピングをしている事業者にせかすことも出来ない。請負業者は完成検査が終わり、代金をもらっているので図面が出来ていようがいまいが何も焦らない。

休日土日出勤の振替休暇

- (局) 週休日または休日における勤務を行う場合は、事前に振替日を指定するとともに週休日については職員の健康確保の観点から同一週に振替日を指定し、休日を確保することとされているため守っていただきたい。
- 今回に関しては、選挙の動員が全市に多数あり、水道局にも多数の動員があったため、例外としてこういう措置を取った。原則としては振替をということである。
- (組合) 前回の選挙だけが例外だったということか。例外とは何なのか。都合で決められても困る。こういうことの積み重ねで人が辞めていったり、人が入ってこない原因になっているのではないか。

タンク車運転免許

- (組合) 運転できる人もいなくなっている。災害があったときも応援に行けない。若い水道技術の職員には免許を取らせるシステムにしたらいいのでは。水道技術に拘らず、水道局に配属になったら免許を取らせるようにしたらどうか。東京などは登録制にしている。他局に異動していても応援に行ける様に。人数が少ないうちに取らせに行った方がよいのではないか。

(局) 要求は理解できる。所管課に伝えていく。

換気扇の掃除

- (組合) エアコンフィルターの掃除はしているが、各換気扇の掃除はしてもらえないのか。各換気扇をチェックしたが全部汚い。

(局) 確かに掃除しているのは見たことが無い。職員がするものではないと思っている。
実態を調べて対応していきたい。

その他

(組合) 繰り返しになるが、自分たちが水道技術の試験を受ける際にはこれからは多能工になっていってもらう、多能工の人間を作っていくと言っていたが、そのような体制になっていない。人は入ってこず、辞めていく。水道技術は入ってこない。土木職の人たちは2、3年で異動させられる。その辺りで、もうどうでも良いといった雰囲気を感じる。残る人は、ずっとだまって、辞めるまで足りない人の分までやつていかないといけない。そこをきちんと真剣に考えてほしい。あとは主管課長交渉でも問うていく。今のままでは10年後は、大変なことになっていると思う。災害対応や、災害応援も無理になる。免許も早く取りに行かせないといけないと思う
(組合) 現状の定数の確認をさせていただきたい。また欠員補充をちゃんとしていただきたい。労務職のところも補充が必要。

(局) 以上、回答交渉を終了する。